股票代碼：8261

富鼎先進電子股份有限公司
及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告
民國107及106年第3季

地址：新竹縣竹北市台元一街5號12樓之1及12樓之2
電話：(03)6215899

§目　　錄§

項目	頁次	財務報表附註編號
一、封　面	1	-
二、目　錄	2	-
三、會計師核閱報告	3	-
四、合併資產負債表	4	-
五、合併綜合損益表	5	-
六、合併權益變動表	6	-
七、合併現金流量表	7～8	-
八、合併財務報表附註		
(一) 公司沿革及業務範圍	9	一
(二) 通過財務報告之日期及程序	9	二
(三) 新發布及修訂準則及解釋之適用	9～13	三
(四) 重大會計政策之彙總說明	13～21	四
(五) 重大會計判斷、假設及估計不確定性之主要來源	21	五
(六) 重要會計項目之說明	21～44	六～二七
(七) 關係人交易	44	二八
(八) 質抵押資產	44	二九
(九) 其　他	44～46	三十
(十) 附註揭露事項		
1. 重大交易事項相關資訊	46～47、48～49	三一
2. 母子公司間業務關係及重要交易往來情形	46～47、50	三一
3. 轉投資事業相關資訊	46～47、51	三一
4. 大陸投資資訊	47、52～53	三一
(十一) 部門資訊	47	三二

Deloitte.

勤業眾信

勤業眾信聯合會計師事務所
11073 台北市信義區松仁路100號20樓

Deloitte & Touche
20F, Taipei Nan Shan Plaza
No. 100, Songren Rd.,
Xinyi Dist., Taipei 11073, Taiwan

Tel :+886 (2) 2725-9988
Fax:+886 (2) 4051-6888
www.deloitte.com.tw

會計師核閱報告

富鼎先進電子股份有限公司　公鑒：

前　　言

富鼎先進電子股份有限公司及其子公司民國 107 年及 106 年 9 月 30 日之合併資產負債表，暨民國 107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日，以及民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併綜合損益表、民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日合併權益變動表與合併現金流量表，以及合併財務報表附註（包括重大會計政策彙總），業經本會計師核閱竣事。依證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理委員會認可並發布生效之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製允當表達之財務報表係管理階層之責任，本會計師之責任係依據核閱結果對合併財務報表作成結論。

範　　圍

本會計師係依照審計準則公報第六十五號「財務報表之核閱」執行核閱工作。核閱合併財務報表時所執行之程序包括查詢（主要向負責財務與會計事務之人員查詢）、分析性程序及其他核閱程序。核閱工作之範圍明顯小於查核工作之範圍，因此本會計師可能無法察覺所有可藉由查核工作辨認之重大事項，故無法表示查核意見。

結　　論

依本會計師核閱結果，並未發現上開合併財務報表在所有重大方面有未依照證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理委員會認可並發布生效之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製，致無法允當表達富鼎先進電子股份有限公司及其子公司民國 107 年及 106 年 9 月 30 日之合併財務狀況，暨民國 107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日之合併財務績效，以及民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併財務績效及合併現金流量之情事。

勤業眾信聯合會計師事務所
會計師　林文欽　　會計師　李振銘

林文欽　　李振銘

證券暨期貨管理委員會核准文號
台財證六字第 0920123784 號

證券暨期貨管理委員會核准文號
台財證六字第 0920123784 號

中華民國 107 年 11 月 12 日

富鼎先進[illegible]及子公司

[illegible]

民國 107 年 9 月 30 日[illegible]105 年[illegible]月 31 日及 9 月 30 日

單位：新台幣仟元

代碼	資產	107年9月30日（經核閱）金額	%	106年12月31日（經查核）金額	%	106年9月30日（經核閱）金額	%
	流動資產						
1100	現金及約當現金（附註四及六）	$ 404,137	17	$ 309,396	16	$ 272,308	15
1120	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－流動（附註四及七）	620	-	-	-	-	-
1125	備供出售金融資產－流動（附註四及九）	-	-	997	-	1,648	-
1147	無活絡市場之債務工具投資－流動（附註四及十一）	-	-	29,488	2	29,946	2
1150	應收票據（附註四及十二）	54,381	2	44,539	2	38,284	2
1172	應收帳款（附註四及十二）	668,890	28	578,355	30	522,641	28
1200	其他應收款（附註十二）	33,904	1	24,684	1	23,684	1
1220	本期所得稅資產（附註四）	8,013	-	7,695	-	7,701	-
130X	存貨（附註四及十三）	653,871	27	467,220	25	492,870	27
1470	其他流動資產	43,160	2	50,150	3	63,237	3
11XX	流動資產總計	1,866,976	77	1,512,524	79	1,452,319	78
	非流動資產						
1517	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動（附註四及七）	34,687	2	-	-	-	-
1523	備供出售金融資產－非流動（附註四及九）	-	-	17,352	1	20,594	1
1535	按攤銷後成本衡量之金融資產－非流動（附註四及八）	202	-	-	-	-	-
1543	以成本衡量之金融資產－非流動（附註四及十）	-	-	17,766	1	17,978	1
1546	無活絡市場之債務工具投資－非流動（附註四及十一）	-	-	202	-	200	-
1600	不動產、廠房及設備（附註十四）	249,464	10	258,095	14	259,115	14
1805	商譽（附註十五）	649	-	668	-	666	-
1821	其他無形資產	5,184	-	4,017	-	4,335	-
1840	遞延所得稅資產（附註四）	35,610	2	54,531	3	55,241	3
1990	其他非流動資產（附註十六）	224,704	9	44,977	2	52,044	3
15XX	非流動資產總計	550,500	23	397,608	21	410,173	22
1XXX	資產總計	$ 2,417,476	100	$ 1,910,132	100	$ 1,862,492	100
代碼	負債及權益						
	流動負債						
2100	短期借款（附註十八）	$ 271,914	11	$ 60,000	3	$ 45,000	2
2150	應付票據	68,379	3	17,177	1	13,592	1
2170	應付帳款	545,619	22	391,926	21	406,989	22
2219	其他應付款（附註十九）	86,826	4	82,003	4	67,489	4
2230	本期所得稅負債（附註四）	2,616	-	6,926	-	2,162	-
2399	其他流動負債	18,132	1	19,398	1	18,153	1
21XX	流動負債總計	993,486	41	577,430	30	553,385	30
	非流動負債						
2570	遞延所得稅負債（附註四）	53	-	-	-	482	-
2645	存入保證金	149	-	149	-	149	-
25XX	非流動負債總計	202	-	149	-	631	-
2XXX	負債總計	993,688	41	577,579	30	554,016	30
	歸屬於本公司業主之權益（附註二十）						
3100	股本	813,405	33	813,405	43	812,910	44
3200	資本公積	330,058	14	327,372	17	326,630	18
	保留盈餘						
3310	法定盈餘公積	37,891	2	33,970	2	33,970	2
3320	特別盈餘公積	35,250	1	37,932	2	37,932	2
3350	未分配盈餘	260,051	11	125,960	6	98,024	5
3300	保留盈餘總計	333,192	14	197,862	10	169,926	9
3400	其他權益	(79,161)	(3)	(35,250)	(2)	(31,258)	(2)
31XX	本公司業主之權益總計	1,397,494	58	1,303,389	68	1,278,208	69
36XX	非控制權益	26,294	1	29,164	2	30,268	1
3XXX	權益總計	1,423,788	59	1,332,553	70	1,308,476	70
	負債與權益總計	$ 2,417,476	100	$ 1,910,132	100	$ 1,862,492	100

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：鄧富吉　　經理人：鄧富吉　　會計主管：譚梅英

富鼎先進電子股份有限公司及子公司

合併損益表

民國 107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日及 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元，惟
每股盈餘為元

代碼		107年7月1日至9月30日 金額	%	106年7月1日至9月30日 金額	%	107年1月1日至9月30日 金額	%	106年1月1日至9月30日 金額	%
	營業收入（附註四）								
4100	銷貨收入	$ 801,806	100	$ 598,898	100	$ 2,084,689	100	$ 1,453,299	100
	營業成本（附註二一）								
5110	銷貨成本	644,491	80	502,933	84	1,700,431	81	1,228,464	84
5900	營業毛利	157,315	20	95,965	16	384,258	19	224,835	16
	營業費用（附註二一及二八）								
6100	推銷費用	39,426	5	35,553	6	108,875	5	99,493	7
6200	管理費用	30,613	4	17,878	3	79,164	4	46,626	3
6300	研究發展費用	16,755	2	18,184	3	53,602	3	50,954	4
6000	營業費用合計	86,794	11	71,615	12	241,641	12	197,073	14
6900	營業淨利	70,521	9	24,350	4	142,617	7	27,762	2
	營業外收入及支出								
7010	其他收入（附註二一）	1,899	-	1,479	-	7,388	-	5,055	-
7020	其他利益及損失（附註二一）	(4,445)	-	2,379	1	3,706	-	(14,776)	(1)
7050	財務成本	(1,367)	-	(239)	-	(2,933)	-	(552)	-
7000	營業外收入及支出合計	(3,913)	-	3,619	1	8,161	-	(10,273)	(1)
7900	稅前淨利	66,608	9	27,969	5	150,778	7	17,489	1
7950	所得稅費用（附註四及二二）	14,437	2	5,069	1	24,536	1	7,105	-
8200	本期淨利	52,171	7	22,900	4	126,242	6	10,384	1
	其他綜合損益								
8310	不重分類至損益之項目								
8316	透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價損益（附註二十）	(4,791)	(1)	-	-	(1,382)	-	-	-
8360	後續可能重分類至損益之項目：								
8361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	(1,698)	-	509	-	(427)	-	(3,257)	-
8362	備供出售金融資產未實現評價損益（附註二十）	-	-	8,313	1	-	-	10,264	-
8300	其他綜合損益合計	(6,489)	(1)	8,822	1	(1,809)	-	7,007	-
8500	本期綜合損益總額	$ 45,682	6	$ 31,722	5	$ 124,433	6	$ 17,391	1
	淨利歸屬於								
8610	本公司業主	$ 54,548	7	$ 23,263	4	$ 128,677	6	$ 11,274	1
8620	非控制權益	(2,377)	-	(363)	-	(2,435)	-	(890)	-
8600		$ 52,171	7	$ 22,900	4	$ 126,242	6	$ 10,384	1
	綜合損益總額歸屬於								
8710	本公司業主	$ 48,566	6	$ 31,775	5	$ 127,303	6	$ 17,949	1
8720	非控制權益	(2,884)	-	(53)	-	(2,870)	-	(558)	-
8700		$ 45,682	6	$ 31,722	5	$ 124,433	6	$ 17,391	1
	每股盈餘（附註二三）								
9750	基　本	$ 0.67		$ 0.29		$ 1.58		$ 0.14	
9850	稀　釋	$ 0.66		$ 0.29		$ 1.57		$ 0.14	

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：鄧富吉　　經理人：鄧富吉　　會計主管：譚梅英

富鼎[illegible]子公司

民國 107 [illegible] 9 月 30 日

（僅經核[illegible]準則查核）

單位：除另予註明外，
係新台幣仟元

代碼		歸屬於本公司業主之權益						其他權益項目							
				保留盈餘											
		普通股	資本公積	法定盈餘公積	特別盈餘公積	未分配盈餘	合計	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	備供出售金融資產未實現評價損益	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損益	員工未賺得酬勞	合計	總計	非控制權益	權益總額
A1	106 年 1 月 1 日餘額	$ 812,826	$ 323,362	$ 26,796	$ 34,120	$ 154,634	$ 215,550	$ 556	($ 38,489)	$ -	($ 1,834)	($ 39,767)	$ 1,311,971	$ 4,001	$ 1,315,972
	105 年度盈餘指撥及分配														
B1	提列法定盈餘公積	-	-	7,174	-	(7,174)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B3	提列特別盈餘公積	-	-	-	3,812	(3,812)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B5	股東現金股利－每股 0.7 元	-	-	-	-	(56,898)	(56,898)	-	-	-	-	-	(56,898)	-	(56,898)
M7	對子公司所有權權益變動	-	3,175	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,175	26,825	30,000
D1	106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日淨利（損）	-	-	-	-	11,274	11,274	-	-	-	-	-	11,274	(890)	10,384
D3	106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日本期其他綜合損益	-	-	-	-	-	-	(3,589)	10,264	-	-	6,675	6,675	332	7,007
D5	106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日綜合損益總額	-	-	-	-	11,274	11,274	(3,589)	10,264	-	-	6,675	17,949	(558)	17,391
N1	執行員工認股權	84	93	-	-	-	-	-	-	-	-	-	177	-	177
N1	認列限制員工權利股票酬勞成本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,834	1,834	1,834	-	1,834
Z1	106 年 9 月 30 日餘額	$ 812,910	$ 326,630	$ 33,970	$ 37,932	$ 98,024	$ 169,926	($ 3,033)	($ 28,225)	$ -	$ -	($ 31,258)	$ 1,278,208	$ 30,268	$ 1,308,476
A1	107 年 1 月 1 日餘額	$ 813,405	$ 327,372	$ 33,970	$ 37,932	$ 125,960	$ 197,862	($ 3,833)	($ 31,417)	$ -	$ -	($ 35,250)	$ 1,303,389	$ 29,164	$ 1,332,553
A3	追溯適用及追溯重編之影響數	-	-	-	-	43,422	43,422	-	31,417	(74,120)	-	(42,703)	719	-	719
A5	107 年 1 月 1 日重編後餘額	813,405	327,372	33,970	37,932	169,382	241,284	(3,833)	-	(74,120)	-	(77,953)	1,304,108	29,164	1,333,272
	106 年度盈餘指撥及分配														
B1	提列法定盈餘公積	-	-	3,921	-	(3,921)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B3	迴轉特別盈餘公積	-	-	-	(2,682)	2,682	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B5	股東現金股利－每股 0.45 元	-	-	-	-	(36,603)	(36,603)	-	-	-	-	-	(36,603)	-	(36,603)
D1	107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日淨利（損）	-	-	-	-	128,677	128,677	-	-	-	-	-	128,677	(2,435)	126,242
D3	107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日其他綜合損益	-	-	-	-	-	-	8	-	(1,382)	-	(1,374)	(1,374)	(435)	(1,809)
D5	107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日綜合損益總額	-	-	-	-	128,677	128,677	8	-	(1,382)	-	(1,374)	127,303	(2,870)	124,433
N1	認列員工認股權酬勞成本	-	2,686	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,686	-	2,686
Q1	處分透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具	-	-	-	-	(166)	(166)	-	-	166	-	166	-	-	-
Z1	107 年 9 月 30 日餘額	$ 813,405	$ 330,058	$ 37,891	$ 35,250	$ 260,051	$ 333,192	($ 3,825)	$ -	($ 75,336)	$ -	($ 79,161)	$ 1,397,494	$ 26,294	$ 1,423,788

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：鄧富吉　　經理人：鄧富吉　　會計主管：譚梅英

富鼎先進電子股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

代　碼		107年1月1日 至9月30日	106年1月1日 至9月30日
	營業活動之現金流量		
A10000	本期稅前淨利	$ 150,778	$ 17,489
A20010	收益費損項目		
A23700	存貨跌價及呆滯（回升利益）損失	(85,246)	1,701
A20100	折舊費用	17,197	19,853
A24100	淨外幣兌換（利益）損失	(7,609)	11,600
A29900	長期預付費用攤銷	7,500	833
A20200	攤銷費用	5,457	4,775
A21200	利息收入	(4,495)	(2,515)
A20900	財務成本	2,933	552
A21900	股份基礎給付酬勞成本	2,686	1,834
A23100	處分備供出售金融資產淨損失	-	145
A30000	營業資產及負債之淨變動數		
A31130	應收票據	(9,842)	(1,512)
A31150	應收帳款	(76,730)	(112,084)
A31180	其他應收款	(9,381)	(972)
A31200	存　　貨	(103,350)	(79,710)
A31240	其他流動資產	6,990	(1,992)
A31990	淨確定福利資產	-	694
A32130	應付票據	51,202	(13,646)
A32150	應付帳款	143,147	67,887
A32180	其他應付款	6,054	(21,194)
A32230	其他流動負債	(1,266)	(28,440)
A33000	營運產生之現金流量	96,025	(134,702)
A33100	收取之利息	4,656	2,418
A33300	支付之利息	(2,651)	(552)
A33500	支付之所得稅	(10,190)	(189)
AAAA	營業活動之淨現金流入（出）	87,840	(133,025)

（接次頁）

（承前頁）

代　碼		107年1月1日 至9月30日	106年1月1日 至9月30日
	投資活動之現金流量		
B00020	出售透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產價款	$ 411	$ -
B00050	處分按攤銷後成本衡量之金融資產	29,488	-
B00400	處分備供出售金融資產價款	-	331
B00700	出售無活絡市場之債務工具投資價款	-	77,481
B02200	取得子公司之淨現金流入	-	7,604
B02700	取得不動產、廠房及設備	(10,332)	(14,577)
B03800	存出保證金增加	(16)	(173)
B04500	取得無形資產	(6,624)	(4,823)
B06700	其他非流動資產（增加）減少	(181,032)	11,380
B07100	預付設備款增加	(6,179)	-
BBBB	投資活動之淨現金流（出）入	(174,284)	77,223
	籌資活動之現金流量		
C00900	取得避險之衍生金融資產	-	-
C00100	短期借款增加	333,779	45,000
C00200	短期借款減少	(120,372)	-
C04500	發放現金股利	(36,603)	(56,888)
C04800	員工執行認股權	-	177
CCCC	籌資活動之淨現金流入（出）	176,804	(11,711)
DDDD	匯率變動對現金及約當現金之影響	4,381	(13,907)
EEEE	本期現金及約當現金增加（減少）數	94,741	(81,420)
E00100	期初現金及約當現金餘額	309,396	353,728
E00200	期末現金及約當現金餘額	$ 404,137	$ 272,308

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：鄧富吉　　經理人：鄧富吉　　會計主管：譚梅英

富鼎先進電子股份有限公司及子公司

合併財務報表附註

民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

（除另予註明者外，金額以新台幣仟元為單位）

一、公司沿革及業務範圍

本公司於 87 年 7 月 17 日設立，主要經營電子元件設計、積體電路設計、半導體設計及測試服務等業務。

本公司於 93 年 4 月 9 日經財團法人中華民國證券櫃檯買賣中心核准股票上櫃，並於 93 年 4 月 15 日正式掛牌。另於 98 年 10 月 29 日經行政院金融監督管理委員會證期局核准股票上市，並於 98 年 12 月 11 日於臺灣證券交易所正式上市掛牌買賣。

本合併財務報告係以本公司之功能性貨幣新台幣表達。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告於 107 年 11 月 12 日提報董事會後發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一) 首次適用修正後之證券發行人財務報告編製準則及金融監督管理委員會（以下稱「金管會」）認可並發布生效之國際財務報導準則（IFRS）、國際會計準則（IAS）、解釋（IFRIC）及解釋公告（SIC）（以下稱「IFRSs」）

除下列說明外，適用修正後之證券發行人財務報告編製準則及金管會認可並發布生效之 IFRSs 將不致造成合併公司會計政策之重大變動：

IFRS 9「金融工具」及相關修正

IFRS 9「金融工具」取代 IAS 39「金融工具：認列與衡量」，並配套修正 IFRS 7「金融工具：揭露」等其他準則。IFRS 9 之新規定涵蓋金融資產之分類、衡量與減損及一般避險會計，相關會計政策請參閱附註四。

金融資產之分類、衡量與減損

合併公司依據 107 年 1 月 1 日所存在之事實及情況，於該日評估已存在金融資產之分類予以追溯調整，並選擇不予重編比較期間。於 107 年 1 月 1 日，各類別金融資產依 IAS 39 及 IFRS 9 所決定之衡量種類及帳面金額及其變動情形彙總如下：

	衡量種類		帳面金額		
金融資產類別	IAS 39	IFRS 9	IAS 39	IFRS 9	說明
現金及約當現金	放款及應收款	按攤銷後成本衡量	$ 309,396	$ 309,396	-
股票投資	備供出售金融資產	透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資	18,349	18,349	(1)
	備供出售金融資產（帳列以成本衡量之金融資產）	透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資	17,766	18,485	(1)
原始到期日超過3個月之定期存款	放款及應收款（帳列無活絡市場之債務工具投資）	按攤銷後成本衡量	29,690	29,690	(2)
應收票據、應收帳款及其他應收款	放款及應收款	按攤銷後成本衡量	647,578	647,578	(3)
存出保證金	放款及應收款	按攤銷後成本衡量	1,731	1,731	-

	107年1月1日帳面金額（IAS 39）	重分類	再衡量	107年1月1日帳面金額（IFRS 9）	107年1月1日保留盈餘影響數	107年1月1日其他權益影響數	說明
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產							
一權益工具							
加：自備供出售金融資產（IAS 39）重分類	$ -	$ 18,349	$ -	$ 18,349	$ 26,932	($ 26,932)	(1)
加：自備供出售金融資產（帳列以成本衡量之金融資產）（IAS 39）重分類	-	17,766	719	18,485	16,490	(15,771)	(1)
合計	$ -	$ 36,115	$ 719	$ 36,834	$ 43,422	($ 42,703)	

(1) 原依 IAS 39 分類為備供出售金融資產之股票投資，因非持有公交易，合併公司選擇全數依 IFRS 9 指定為透過其他綜合損益按公允價值衡量，並將相關其他權益－備供出售金融資產未實現損失 31,417 仟元重分類為其他權益－透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損失。

其中原依 IAS39 以成本衡量之未上市（櫃）股票投資，依 IFRS9 分類為指定透過其他綜合損益按公允價值衡量，並應按公允價值再衡量，因而 107 年 1 月 1 日之透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產及其他權益－透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現利益分別調整增加 719 仟元。

合併公司原依 IAS 39 已認列以成本衡量及備供出售金融資產之股票投資減損損失並累積於保留盈餘。因該等股票依 IFRS 9 指定為透過其他綜合損益按公允價值衡量而不再評估減損，因

而 107 年 1 月 1 日之其他權益－透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現利益之帳面金額調整減少 43,422 仟元，保留盈餘調整增加 43,422 仟元。

(2) 原依 IAS 39 分類為無活絡市場之債務工具投資並按攤銷後成本衡量之債券投資，其原始認列時之合約現金流量完全為支付本金及流通在外本金金額之利息，且依 107 年 1 月 1 日所存在之事實及情況評估經營模式係收取合約現金流量，依 IFRS 9 分類為按攤銷後成本衡量，並評估預期信用損失。

(3) 應收票據、應收帳款及其他應收款原依 IAS 39 分類為放款及應收款，依 IFRS 9 則分類為按攤銷後成本衡量之金融資產，並評估預期信用損失。

(二) 108 年適用之證券發行人財務報告編製準則及金管會將認可之 IFRSs

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日(註1)
「2015-2017 週期之年度改善」	2019 年 1 月 1 日
IFRS 9 之修正「具負補償之提前還款特性」	2019 年 1 月 1 日（註 2）
IFRS 16「租賃」	2019 年 1 月 1 日
IAS 19 之修正「計畫修正、縮減或清償」	2019 年 1 月 1 日（註 3）
IAS 28 之修正「對關聯企業及合資之長期權益」	2019 年 1 月 1 日
IFRIC 23「所得稅務處理之不確定性」	2019 年 1 月 1 日

註 1： 除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度期間生效。

註 2： 金管會允許合併公司得選擇提前於 107 年 1 月 1 日適用此項修正。

註 3： 2019 年 1 月 1 日以後發生之計畫修正、縮減或清償適用此項修正。

IFRS 16「租賃」

IFRS 16 係規範租賃之會計處理，該準則將取代 IAS 17「租賃」及相關解釋。

租賃定義

首次適用 IFRS 16 時，合併公司將選擇僅就 108 年 1 月 1 日以後簽訂（或變動）之合約依 IFRS 16 評估是否係屬（或包含）租賃，目

前已依 IAS 17 及 IFRIC 4 辨認為租賃之合約將不予重新評估並將依 IFRS 16 之過渡規定處理。

合併公司為承租人

首次適用 IFRS 16 時，除低價值標的資產租賃及短期租賃選擇按直線基礎認列費用外，其他租賃將於合併資產負債表認列使用權資產及租賃負債。合併綜合損益表將分別表達使用權資產之折舊費用及租賃負債按有效利息法所產生之利息費用。於合併現金流量表中，償付租賃負債之本金金額將表達為籌資活動，支付利息部分將列為籌資活動。適用 IFRS 16 前，分類為營業租賃之合約係按直線基礎認列費用。營業租賃現金流量於合併現金流量表係表達於營業活動。

合併公司預計選擇將追溯適用 IFRS 16 之累積影響數調整於 108 年 1 月 1 日保留盈餘，不重編比較資訊。

目前依 IAS 17 以營業租賃處理之協議，於 108 年 1 月 1 日租賃負債之衡量將以剩餘租賃給付按該日承租人之增額借款利率折現，全部使用權資產將以該日之租賃負債金額並調整先前已認列之預付或應付租賃給付金額衡量。所認列之使用權資產均將適用 IAS 36 評估減損。

合併公司預計將適用下列權宜作法：

1. 對具有合理類似特性之租賃組合使用單一折現率衡量租賃負債。
2. 租賃期間於 108 年 12 月 31 日以前結束之租賃將依短期租賃處理。
3. 進行租賃負債之衡量時，對諸如租賃期間之決定將使用後見之明。

合併公司為出租人

於過渡時對出租人之租賃將不作任何調整，且自 108 年 1 月 1 日起始適用 IFRS 16。

除上述影響外，截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估其他準則、解釋之修正對財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

(三) IASB 已發布但尚未經金管會認可並發布生效之 IFRSs

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB發布之生效日(註1)
IFRS 3 之修正「業務之定義」	2020 年 1 月 1 日（註 2）
IFRS 10 及 IAS 28 之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	未定
IFRS 17「保險合約」	2021 年 1 月 1 日
IAS 1 及 IAS 8 之修正「重大性之定義」	2020 年 1 月 1 日（註 3）

註 1：除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度期間生效。

註 2：收購日在年度報導期間開始於 2020 年 1 月 1 日以後之企業合併及於前述日期以後發生之資產取得適用此項修正。

註 3：2020 年 1 月 1 日以後開始之年度期間推延適用此項修正。

截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估上述準則、解釋之修正對財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

四、重大會計政策之彙總說明

(一) 遵循聲明

本合併財務報告係依照證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可並發布生效之 IAS 34「期中財務報導」編製。本合併財務報告並未包含整份年度財務報告所規定之所有 IFRSs 揭露資訊。

(二) 編製基礎

除按公允價值衡量之金融工具及按確定福利義務現值減除計畫資產公允價值認列之淨確定福利負債外，本合併財務報告係依歷史成本基礎編製。

公允價值衡量依照相關輸入值之可觀察程度及重要性分為第 1 等級至第 3 等級：

1. 第 1 等級輸入值：係指於衡量日可取得之相同資產或負債於活絡市場之報價（未經調整）。

2. 第 2 等級輸入值：係指除第 1 等級之報價外，資產或負債直接（亦即價格）或間接（亦即由價格推導而得）之可觀察輸入值。

3. 第 3 等級輸入值：係指資產或負債之不可觀察之輸入值。

(三) 合併基礎

本合併財務報告係包含本公司及由本公司所控制個體（子公司）之財務報告。合併綜合損益表已納入被收購或被處分子公司於當期自收購日起或至處分日止之營運損益。子公司之財務報告已予調整，以使其會計政策與合併公司之會計政策一致。於編製合併財務報告時，各個體間之交易、帳戶餘額、收益及費損已全數予以銷除。

子公司明細、持股比率及營業項目，參閱附註十七、附表四及五。

(四) 其他重大會計政策

除金融工具及收入認列相關會計政策及下列說明外，請參閱 106 年度合併財務報告之重大會計政策彙總說明。

1. 金融工具

金融資產與金融負債於合併公司成為該工具合約條款之一方時認列於合併資產負債表。

原始認列金融資產與金融負債時，若金融資產或金融負債非屬透過損益按公允價值衡量者，係按公允價值加計直接可歸屬於取得或發行金融資產或金融負債之交易成本衡量。直接可歸屬於取得或發行透過損益按公允價值衡量之金融資產或金融負債之交易成本，則立即認列為損益。

(1) 金融資產

金融資產之慣例交易係交易日會計認列及除列。

A.衡量種類

<u>107 年</u>

合併公司所持有之金融資產種類為按攤銷後成本衡量之金融資產與透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資。

a. 按攤銷後成本衡量之金融資產

合併公司投資金融資產若同時符合下列兩條件，則分類為按攤銷後成本衡量之金融資產：

(a) 係於某經營模式下持有，該模式之目的係持有金融資產以收取合約現金流量；及

(b) 合約條款產生特定日期之現金流量，該等現金流量完全為支付本金及流通在外本金金額之利息。

按攤銷後成本衡量之金融資產（包括現金及約當現金、按攤銷後應收帳款及其他應收款與其他金融資產）於原始認列後，係以有效利息法決定之總帳面金額減除任何減損損失之攤銷後成本衡量，任何外幣兌換損益則認列於損益。

利息收入係以有效利率乘以金融資產總帳面金額計算。

約當現金包括自取得日起 3 個月內、高度流動性、可隨時轉換成定額現金且價值變動風險甚小之定期存款及附買回票券，係用於滿足短期現金承諾。

b. 透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資

合併公司於原始認列時，可作一不可撤銷之選擇，將非持有供交易且非企業合併收購者所認列或有對價之權益工具投資，指定透過其他綜合損益按公允價值衡量。

透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資係按公允價值衡量，後續公允價值變動列報於其他綜合損益，並累計於其他權益中。於投資處分時，累積損益直接移轉至保留盈餘，並不重分類為損益。

透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資之股利於合併公司收款之權利確立時認列於損益中，除非該股利明顯代表部分投資成本之回收。

106 年

合併公司所持有之金融資產種類為備供出售金融資產與放款及應收款。

a. 備供出售金融資產

備供出售金融資產係非衍生金融資產被指定為備供出售，或未被分類為放款及應收款、持有至到期日投資或透過損益按公允價值衡量之金融資產。

備供出售金融資產係按公允價值衡量，備供出售貨幣性金融資產帳面金額之變動中屬外幣兌換損益與以有效利息法計算之利息收入，以及備供出售權益投資之股利，係認列於損益。其餘備供出售金融資產帳面金額之變動係認列於其他綜合損益，於投資處分或確定減損時重分類為損益。

備供出售權益投資之股利於合併公司收款之權利確立時認列。

備供出售金融資產若屬於無活絡市場公開報價且公允價值無法可靠衡量之權益工具投資，及與此種無報價權益工具連結且須以交付該等權益工具交割之衍生工具，後續係以成本減除減損損失後之金額衡量，並單獨列為「以成本衡量之金融資產」。該等金融資產於後續能可靠衡量公允價值時，係按公允價值再衡量，其帳面金額與公允價值間之差額認列於其他綜合損益，若有減損時，則認列於損益。

b. 放款及應收款

放款及應收款（包括現金及約當現金、應收票據、應收帳款、無活絡市場之債務工具投資、其他應收款與存出保證金）係採用有效利息法按攤銷後成本減除減損損失後之金額衡量，惟短期應收帳款之利息認列不具重大性之情況除外。

約當現金包括自取得日起3個月內、高度流動性、可隨時轉換成定額現金且價值變動風險甚小之定期存款及附買回票券，係用於滿足短期現金承諾。

B.金融資產之減損

107年

合併公司於每一資產負債表日按預期信用損失評估按攤銷後成本衡量之金融資產（含應收帳款）之減損損失。

應收帳款按存續期間預期信用損失認列備抵損失。其他金融資產係先評估自原始認列後信用風險是否顯著增加，若未顯著增加，則按12個月預期信用損失認列備抵損失，若已顯著增加，則按存續期間預期信用損失認列備抵損失。

預期信用損失係以發生違約之風險作為權重之加權平均信用損失。12個月預期信用損失係代表金融工具於報導日後12個月內可能違約事項所產生之預期信用損失，存續期間預期信用損失則代表金融工具於預期存續期間所有可能違約事項產生之預期信用損失。

所有金融資產之減損損失係藉由備抵帳戶調降其帳面金額，惟透過其他綜合損益按公允價值衡量之債務工具投資之備抵損失係認列於其他綜合損益，並不減少其帳面金額。

106年

除透過損益按公允價值衡量之金融資產外，合併公司係於每一資產負債表日評估其他金融資產是否有減損客觀證據，當有客觀證據顯示，因金融資產原始認列後發生之單一或多項事項，致使金融資產之估計未來現金流量受損失者，該金融資產即已發生減損。

按攤銷後成本列報之金融資產，如應收帳款，該資產若經個別評估未有客觀減損證據，另再集體評估減

損。應收款集體存在之客觀減損證據可能包含合併公司過去收款經驗，以及與應收款拖欠有關之可觀察全國性或區域性經濟情勢變化等因素。

按攤銷後成本列報之金融資產之減損損失金額係該資產帳面金額與估計未來現金流量按該金融資產原始有效利率折現之現值間之差額。

按攤銷後成本列報之金融資產於後續期間減損損失金額減少，且經客觀判斷該減少與認列減損後發生之事項有關，則先前認列之減損損失直接或藉由調整備抵帳戶予以迴轉認列於損益，惟該迴轉不得使金融資產帳面金額超過若未認列減損情況下於迴轉日應有之攤銷後成本。

當備供出售權益投資之公允價值低於成本且發生大幅或持久性下跌時，係為客觀減損證據。

其他金融資產客觀減損證據包含發行人或債務人之重大財務困難、違約（例如利息或本金支付之延滯或不償付）、債務人將進入破產或其他財務重整之可能性大增或由於財務困難而使金融資產之活絡市場消失。

當備供出售金融資產發生減損時，原先已認列於其他綜合損益之累計損失金額將重分類至損益。

備供出售權益工具投資已認列於損益之減損損失不得透過損益迴轉。任何認列減損損失後之公允價值回升金額係認列於其他綜合損益。

以成本衡量之金融資產之減損損失金額係該資產帳面金額與估計未來現金流量按類似金融資產之現時市場報酬率折現之現值間之差額。此種減損損失於後續期間不得迴轉。

所有金融資產之減損損失係直接自金融資產之帳面金額中扣除，惟應收帳款及其他應收款係藉由備抵帳戶調降其帳面金額。當判斷應收帳款及其他應收款無法收

回時，係沖銷備抵帳戶。原先已沖銷而後續收回之款項則貸記備抵帳戶。除因應收帳款無法收回而沖銷備抵帳戶外，備抵帳戶帳面金額之變動認列於損益。

C.金融資產之除列

合併公司僅於對來自金融資產現金流量之合約權利失效，或已移轉金融資產且該資產所有權之幾乎所有風險及報酬已移轉予其他企業時，始將金融資產除列。

於 106 年（含）以前，於一金融資產整體除列時，其帳面金額與所收取對價加計已認列於其他綜合損益之任何累計利益或損失之總和間之差額係認列於損益。自 107 年起，於一按攤銷後成本衡量之金融資產整體除列時，其帳面金額與所收取對價間之差額係認列於損益。於一透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資整體除列時，累積損益直接移轉至保留盈餘，並不重分類為損益。

(2) 金融負債

A.後續衡量

金融負債非屬持有供交易及未指定為透過損益按公允價值衡量者，係以有效利息法按攤銷後成本衡量。

B. 金融負債之除列

除列金融負債時，其帳面金額與所支付對價（包含任何所移轉之非現金資產或承擔之負債）間之差額認列為損益。

2. 收入認列

<u>107 年</u>

<u>商品銷貨收入</u>

商品銷貨收入來自半導體產品之銷售。由於半導體產品於運抵客戶指定地點時或起運時，客戶對商品已有訂定價格與使用之權利且負有再銷售之主要責任，並承擔商品陳舊過時風險，合併公司係於該時點認列收入及應收帳款。

106 年

收入係按已收或應收對價之公允價值衡量，並扣除估計之客戶退貨、折扣及其他類似之折讓。銷貨退回係依據以往經驗及其他攸關因素合理估計未來之退貨金額提列。

(1) 商品之銷售

銷售商品係於下列條件完全滿足時認列收入：

A.合併公司已將商品所有權之重大風險及報酬移轉予買方；

B.合併公司對於已經出售之商品既不持續參與管理，亦未維持有效控制；

C.收入金額能可靠衡量；

D.與交易有關之經濟效益很有可能流入合併公司；及

E.與交易有關之已發生或將發生之成本能可靠衡量。

去料加工時，加工產品所有權之重大風險及報酬並未移轉，是以去料時不作銷貨處理。

具體而言，銷售商品收入係於商品交付且法定所有權移轉時認列。

(2) 股利收入及利息收入

投資所產生之股利收入係於股東收款之權利確立時認列，惟前提係與交易有關之經濟效益很有可能流入合併公司，且收入金額能可靠衡量。

金融資產之利息收入係於經濟效益很有可能流入合併公司，且收入金額能可靠衡量時認列。利息收入係依時間之經過按流通在外本金與所適用之有效利率採應計基礎認列。

3. 所得稅

所得稅費用係當期所得稅及遞延所得稅之總和。期中期間之所得稅係以年度為基礎進行評估，以預期年度總盈餘所適用之稅率，就期中稅前利益予以計算。期中期間因稅法修正發生

之稅率變動影響係與產生租稅後果之交易本身會計處理原則一致，於發生當期一次認列於損益或其他綜合損益。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

本合併財務報告所採用之重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源與106年度合併財務報告相同。

六、現金及約當現金

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
庫存現金及週轉金	$ 159	$ 161	$ 161
銀行支票及活期存款	219,947	176,644	144,484
約當現金（原始到期日在3個月以內之投資）			
銀行定期存款	42,377	30,766	61,091
附買回債券	141,654	101,825	66,572
	$ 404,137	$ 309,396	$ 272,308

七、透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－107年

	107年9月30日
流　動	
透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資	$ 620
非流動	
透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資	$ 34,687

透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資

	107年9月30日
流　動	
國內投資	
上市（櫃）股票	$ 620
非流動	
國內投資	
上市（櫃）私募股票	$ 15,937
未上市（櫃）股票	8,139
小　計	24,076
國外投資	
未上市（櫃）股票	10,611
	$ 34,687

合併公司依中長期策略目的投資上述公司普通股，並預期透過長期投資獲利。合併公司管理階層認為若將該等投資之短期公允價值波動列入損益，與前述長期投資規劃並不一致，因此選擇指定該等投資為透過其他綜合損益按公允價值衡量。該等投資原依 IAS 39 係分類為備供出售金融資產（含帳列以成本衡量之金融資產），其重分類及 106 年資訊，請參閱附註三、附註九及附註十。

八、按攤銷後成本衡量之金融資產－107 年

	107年9月30日
非 流 動	
國內投資	
質押定存單	$ 202

按攤銷後成本衡量之金融資產質押之資訊，參閱附註二九。

九、備供出售金融資產－106 年

	106年12月31日	106年9月30日
流 動		
國內投資		
上市（櫃）股票	$ 997	$ 1,648
非 流 動		
國內投資		
上市（櫃）私募股票	$ 17,352	$ 20,594

合併公司所投資之備供出售金融資產－非流動，係買賣受限制之私募國內上櫃股票－元隆電子股份有限公司。

十、以成本衡量之金融資產－106 年

	106年12月31日	106年9月30日
非 流 動		
國外未上市（櫃）普通股	$ 12,633	$ 12,845
國內未上市（櫃）普通股	5,133	5,133
	$ 17,766	$ 17,978
依衡量種類區分		
備供出售	$ 17,766	$ 17,978

合併公司所持有之上述國內外未上市（櫃）股票投資，於資產負債表日係按成本減除減損損失衡量，因其公允價值合理估計數之區間

重大且無法合理評估各種估計之機率，致合併公司管理階層認為其公允價值無法可靠衡量。

十一、無活絡市場之債務工具投資－106 年

	106年12月31日	106年9月30日
流　動		
原始到期日超過3個月之定期存款	$ 29,488	$ 29,946
非 流 動		
質押定存單	$ 202	$ 200

無活絡市場之債務工具投資質押之資訊，參閱附註二九。

十二、應收票據、應收帳款及其他應收款

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
應收票據			
因營業而發生	$ 54,508	$ 44,666	$ 38,411
減：備抵損失	(127)	(127)	(127)
	$ 54,381	$ 44,539	$ 38,284
應收帳款			
按攤銷後成本衡量			
總帳面金額	$ 680,725	$ 590,190	$ 534,476
減：備抵損失	(11,835)	(11,835)	(11,835)
	$ 668,890	$ 578,355	$ 522,641
其他應收款			
應收退稅款	$ 33,297	$ 24,024	$ 22,949
其　他	607	660	735
	$ 33,904	$ 24,684	$ 23,684

(一) 應收帳款

107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

合併公司對商品銷售之平均授信期間為月結 60~150 天，對應收帳款不予計息。

在接受新客戶之前，合併公司係透過外部信用評等系統評估該潛在客戶之信用品質並設定該客戶之信用額度。

合併公司採用 IFRS 9 之簡化作法按存續期間預期信用損失認列應收帳款之備抵損失。存續期間預期信用損失係使用準備矩陣計

算，其考量客戶過去違約紀錄與現時財務狀況、產業經濟情勢，並同時考量產業展望。因合併公司之信用損失歷史經驗顯示，不同客戶群之損失型態並無顯著差異，因此準備矩陣未進一步區分客戶群，僅以應收帳款逾期天數訂定預期信用損失率。

若有證據顯示交易對方面臨嚴重財務困難且合併公司無法合理預期可回收金額，合併公司直接沖銷相關應收帳款，惟仍會持續追索活動，因追索回收之金額則認列於損益。

合併公司依準備矩陣衡量應收帳款之備抵損失如下：

107 年 9 月 30 日

	未逾期	逾期 1～120天	逾期 121～365天	逾期 超過365天	合計
預期信用損失率	0%～3%	0%～30%	3%～30%	30%	
總帳面金額	$ 650,863	$ 24,453	$ 5,409	$ -	$ 680,725
備抵損失(存續期間預期信用損失)	(10,158)	(54)	(1,623)	-	(11,835)
攤銷後成本	$ 640,705	$ 24,399	$ 3,786	$ -	$ 668,890

應收帳款備抵損失之變動資訊如下：

	107年1月1日至9月30日
期初餘額（IAS 39）	$ 11,835
追溯適用 IFRS 9 調整數	-
期初餘額（IFRS 9）	11,835
加：本期提列減損損失	-
期末餘額	$ 11,835

106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

合併公司於 106 年之授信政策與前述 107 年授信政策相同。

應收帳款之帳齡分析如下：

	106年12月31日	106年9月30日
0 至 60 天	$ 423,837	$ 420,196
60 至 90 天	123,244	73,226
90 天以上	43,109	41,054
合　計	$ 590,190	$ 534,476

以上係以立帳天數為基準進行之帳齡分析。

已逾期但未減損應收帳款之帳齡分析如下：

	106年12月31日	106年9月30日
0至90天	$ 50,420	$ 23,281
91天以上	1,234	1,491
	$ 51,654	$ 24,772

以上係以逾期天數為基準進行之帳齡分析。

應收款項及催收款之備抵呆帳變動資訊如下：

	個別評估減損損失	群組評估減損損失	合計
106年1月1日餘額	$ 40,269	$ 11,962	$ 52,231
減：本期重分類	-	-	-
106年9月30日餘額	$ 40,269	$ 11,962	$ 52,231

(二) 催收款

合併公司於資產負債表日針對已逾期之重大金融資產個別評估是否存在客觀減損證據，考量交易對方償付狀況發生不利變化、逾期支付件數增加等跡象，予以轉列催收款，並全額提列備抵呆帳。

截至107年9月30日暨106年12月31日及9月30日止，已針對催收款提列備抵呆帳金額分別為38,559仟元、40,269仟元及40,269仟元。

催收款備抵損失之變動資訊如下：

	107年1月1日至9月30日
期初餘額（IAS 39）	$ 40,269
追溯適用IFRS 9調整數	-
期初餘額（IFRS 9）	40,269
減：本期實際沖銷	(1,710)
期末餘額	$ 38,559

十三、存　　貨

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
原　料	$ 43,237	$ 30,718	$ 16,187
在製品	404,370	319,683	288,227
製成品	206,264	116,819	188,456
	$ 653,871	$ 467,220	$ 492,870

107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日之銷貨成本包括存貨跌價及呆滯損失 9,363 仟元及 0 仟元；107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之銷貨成本分別包括存貨淨變現價值回升利益 85,246 仟元及存貨跌價及呆滯損失 1,701 仟元。存貨淨變現價值回升係因處分先前已提列跌價損失之商品所致。

十四、不動產、廠房及設備

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
土　地	$ 61,590	$ 61,590	$ 61,590
建 築 物	159,674	162,559	163,520
機器設備	9,719	12,566	13,885
電腦通訊設備	2,361	2,564	1,276
辦公設備	845	1,108	1,203
租賃改良	1,818	2,129	981
其他設備	13,457	15,579	16,660
	$ 249,464	$ 258,095	$ 259,115

除認列折舊費用外，合併公司之不動產、廠房及設備於 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日並未發生重大增添、處分及減損情形。

折舊費用係以直線基礎按下列耐用年數計提：

建 築 物	
辦公大樓	50 年
機電動力設備	15 年
機器設備	6 年
電腦通訊設備	3 至 7 年
辦公設備	1 至 5 年
租賃改良	5 年
其他設備	1 至 5 年

設定作為擔保借款之不動產、廠房及設備金額請參閱附註二九。

十五、商　譽

	107年1月1日 至9月30日	106年1月1日 至9月30日
成　本		
期初餘額	$ 668	$ -
本期企業合併取得（附註二五）	-	671
淨兌換差額	(19)	(5)
期末餘額	$ 649	$ 666

十六、其他非流動資產

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
長期預付貨款	$ 197,611	$ 16,579	$ 21,251
長期預付款項	19,167	26,667	29,167
預付設備款	6,179	-	-
存出保證金	1,747	1,731	1,446
其　　他	-	-	180
	$ 224,704	$ 44,977	$ 52,044

合併公司為確保穩定之封裝產能及降低封裝成本，與封裝廠簽訂產能保證合約，並預付長期貨款以維護合約之履行。

橙毅公司以 106 年 9 月 4 日為基準日，辦理個人之勞務出資增加資本額 30,000,000 元，帳列長期預付款項按三年期攤提認列薪資費用。

十七、子公司

(一) 列入合併財務報告之子公司

本合併財務報告編製主體如下：

投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	所有權權益及表決權百分比 107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日	說明
本公司	Future Technology Consulting (B.V.I.), Inc.（以下簡稱 Future 公司）	一般投資業	100%	100%	100%	-
本公司	Perfect Prime Limited（以下簡稱 Perfect 公司）	一般投資業	100%	100%	100%	-
本公司	橙毅科技股份有限公司(以下簡稱橙毅公司)	買賣業	73.08%	73.08%	73.08%	註 1
Perfect 公司	深圳富澄電子有限公司(以下簡稱富澄公司)	買賣業	100%	100%	100%	-
橙毅公司	無錫橙芯微電子科技有限公司(以下簡稱橙芯微公司)	製造業	100%	100%	100%	註 2

註 1：橙毅公司於 106 年 9 月辦理個人勞務出資增加資本額，增資後本公司持股比例降為 73.08%。

註 2：橙毅公司於 106 年 4 月取得該公司股權。

(二) 未列入合併財務報告之子公司：無。

十八、短期借款

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
擔保借款			
一銀行借款	$ 80,000	$ 45,000	$ -
無擔保借款			
一銀行借款	191,914	15,000	45,000
	$ 271,914	$ 60,000	$ 45,000

銀行週轉性借款之利率於107年9月30日暨106年12月31日及106年9月30日分別為1.18%～5.22%、1.15%～1.20%及1.25%。

十九、其他應付款

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
應付薪資及獎金	$ 32,167	$ 36,760	$ 25,477
應付員工及董事酬勞	15,813	5,382	1,929
應付設備款	2,887	4,442	2,182
其　　他	35,959	35,419	37,901
	$ 86,826	$ 82,003	$ 67,489

二十、權　　益

(一) 股　　本

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
額定股數（仟股）	200,000	200,000	200,000
額定股本	$ 2,000,000	$ 2,000,000	$ 2,000,000
已發行且已收足股款之股數（仟股）	81,341	81,341	81,291
已發行股本	$ 813,405	$ 813,405	$ 812,910

已發行之普通股每股面額為10元，每股享有一表決權及收取股利之權利。

(二) 資本公積

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
得用以彌補虧損、發放現金或撥充股本(1)			
股票發行溢價	$ 243,984	$ 243,984	$ 242,778
庫藏股票交易	12,728	12,728	12,729
僅得用以彌補虧損			
已失效認股權(2)	67,287	67,287	67,062
不得作為任何用途			
員工認股權	2,686	-	886
認列對子公司所有權權益變動數(3)	3,373	3,373	3,175
限制員工權利股票	-	-	-
	$ 330,058	$ 327,372	$ 326,630

1. 此類資本公積得用以彌補虧損，亦得於公司無虧損時，用以發放現金或撥充股本，惟撥充股本時每年以實收股本之一定比率為限。
2. 此類資本公積係無現金流入之員工認股權及可轉換公司債失效時之調整。
3. 此類資本公積係本公司未實際取得或處分子公司股權時，因子公司權益變動認列之權益交易影響數，或本公司採權益法認列子公司資本公積之調整數。

(三) 保留盈餘及股利政策

依本公司章程之盈餘分派政策規定，本公司年度決算如有盈餘，依法繳納稅捐，彌補累積虧損後，再提 10%為法定盈餘公積，但法定盈餘公積已達本公司實收資本額時，得不再提列，其餘再依法令規定提列或迴轉特別盈餘公積；如尚有餘額，併同累積未分配盈餘，由董事會擬具盈餘分配議案，提請股東會決議分派股東紅利。本公司章程規定之員工及董事酬勞分派政策，參閱附註二一(五)員工酬勞及董事酬勞。

本公司考量公司處於營業成長期，為配合未來資金需求及長期財務規劃，並滿足股東對現金流量的需求，就前項可供分配盈餘提撥分配股東股利，其中現金股利不得低於股利總額之 10%，惟此項

盈餘分派之種類及比率得視當年度實際獲利及資金狀況，經股東會決議調整之。

法定盈餘公積應提撥至其餘額達公司實收股本總額時為止。法定盈餘公積得用以彌補虧損。公司無虧損時，法定盈餘公積超過實收股本總額25%之部分除得撥充股本外，尚得以現金分配。

本公司依金管證發字第1010012865號函、金管證發字第1010047490號函及「採用國際財務報導準則（IFRSs）後，提列特別盈餘公積之適用疑義問答」規定提列及迴轉特別盈餘公積。

本公司於107年5月17日及106年5月17日舉行股東常會，分別決議通過106及105年度盈餘分配案如下：

	盈餘分配案		每股股利（元）	
	106年度	105年度	106年度	105年度
提列法定盈餘公積	$ 3,921	$ 7,174		
(迴轉)提列特別盈餘公積	(2,682)	3,812		
現金股利	36,603	56,898	$ 0.45	$ 0.7

(四) 其他權益項目

1. 備供出售金融資產未實現（損）益

106年1月1日餘額	($ 38,489)
當期產生	
未實現利益	10,119
重分類調整	
處分備供出售金融資產	145
106年9月30日餘額	($ 28,225)
107年1月1日餘額（IAS 39）	($ 31,417)
追溯適用IFRS 9之影響數	31,417
107年1月1日餘額（IFRS 9）	$ -

2. 透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損益

	107年1月1日 至9月30日
期初餘額（IAS 39）	$ -
追溯適用 IFRS 9 之影響數	(74,120)
期初餘額（IFRS 9）	(74,120)
當期產生	
未實現損益－權益工具	(1,382)
處分權益工具累計損益移轉至保留盈餘	166
期末餘額	($ 75,336)

二一、繼續營業單位淨利

(一) 其他收入

	107年7月1日 至9月30日	106年7月1日 至9月30日	107年1月1日 至9月30日	106年1月1日 至9月30日
利息收入	$ 1,311	$ 745	$ 4,495	$ 2,515
租金收入	462	426	1,314	1,278
其　他	126	308	1,579	1,262
	$ 1,899	$ 1,479	$ 7,388	$ 5,055

(二) 其他利益及損失

	107年7月1日 至9月30日	106年7月1日 至9月30日	107年1月1日 至9月30日	106年1月1日 至9月30日
淨外幣兌換（損）益	($ 4,255)	$ 2,581	$ 4,700	($ 12,934)
處分備供出售金融資產（損）益	-	(145)	-	(145)
其　他	(190)	(57)	(994)	(1,697)
	($ 4,445)	$ 2,379	$ 3,706	($ 14,776)

(三) 折舊及攤銷

	107年7月1日 至9月30日	106年7月1日 至9月30日	107年1月1日 至9月30日	106年1月1日 至9月30日
不動產、廠房及設備	$ 5,504	$ 6,420	$ 17,197	$ 19,853
無形資產	1,802	1,569	5,457	4,775
合　計	$ 7,306	$ 7,989	$ 22,654	$ 24,628
折舊費用依功能別彙總				
營業成本	$ 2,769	$ 3,818	$ 9,120	$ 12,516
營業費用	2,735	2,602	8,077	7,337
合　計	$ 5,504	$ 6,420	$ 17,197	$ 19,853
攤銷費用依功能別彙總				
營業成本	$ 97	$ 171	$ 436	$ 727
營業費用	1,705	1,398	5,021	4,048
合　計	$ 1,802	$ 1,569	$ 5,457	$ 4,775

(四) 員工福利費用

	107年7月1日 至9月30日	106年7月1日 至9月30日	107年1月1日 至9月30日	106年1月1日 至9月30日
短期員工福利	$ 63,987	$ 42,028	$ 174,836	$ 124,955
退職後福利				
確定提撥計畫	1,674	1,597	4,989	4,645
確定福利計畫	-	-	-	256
股份基礎給付	1,723	366	2,686	1,834
其他用人費用	1,131	1,079	3,492	3,361
員工福利費用合計	$ 68,515	$ 45,070	$ 186,003	$ 135,051
依功能別彙總				
營業成本	$ 9,160	$ 8,705	$ 27,323	$ 26,155
營業費用	59,355	36,365	158,680	108,896
	$ 68,515	$ 45,070	$ 186,003	$ 135,051

(五) 員工酬勞及董事酬勞

本公司年度如有獲利，分別以不低於 8%及不高於 3%提撥員工酬勞及董事酬勞。107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日估列之員工酬勞及董事酬勞如下：

估列比例

	107年7月1日 至9月30日	106年7月1日 至9月30日	107年1月1日 至9月30日	106年1月1日 至9月30日
員工酬勞	8%	8%	8%	8%
董監事酬勞	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%

金　　額

	107年7月1日 至9月30日	106年7月1日 至9月30日	107年1月1日 至9月30日	106年1月1日 至9月30日
員工酬勞	$ 6,170	$ 1,625	$ 13,316	$ 1,625
董監事酬勞	$ 1,157	$ 305	$ 2,497	$ 305

年度合併財務報告通過發布日後若金額仍有變動，則依會計估計變動處理，於次一年度調整入帳。

本公司於 107 年 3 月 22 日及 106 年 3 月 27 日舉行董事會，分別決議通過 106 及 105 年度員工酬勞及董事酬勞如下：

金　　額

	106年度	105年度
	現　　金	現　　金
員工酬勞	$ 4,532	$ 7,577
董事酬勞	850	1,421

106 年及 105 年度員工酬勞及董事酬勞之實際配發金額與 106 及 105 年度合併財務報告認列之金額並無差異。

有關本公司 107 年及 106 年董事會決議之員工酬勞及董事酬勞資訊，請至台灣證券交易所「公開資訊觀測站」查詢。

二二、所得稅

(一) 認列於損益之所得稅

所得稅費用之主要組成項目如下：

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
本期所得稅				
本期產生者	$ 2,042	$ 1,964	$ 5,279	$ 2,348
以前年度之調整	-	-	285	-
遞延所得稅				
本期產生者	12,395	3,105	28,595	4,757
稅率變動	-	-	(9,623)	-
認列於損益之所得稅費用	$ 14,437	$ 5,069	$ 24,536	$ 7,105

我國於 107 年修正中華民國所得稅法，將營利事業所得稅稅率由 17%調整為 20%，因稅率變動應認列於損益之遞延所得稅損失已於稅率變動當期全數認列。此外，107 年度未分配盈餘所適用之稅率將由 10%調降為 5%。

(二) 所得稅核定情形

合併公司之營利事業所得稅申報案件業經稅捐稽徵機關核定情形如下：

	核定年度
本公司	104
橙毅科技股份有限公司	105

二三、每股盈餘

用以計算每股盈餘之盈餘及普通股加權平均股數如下：

本期淨利

	107年7月1日 至9月30日	106年7月1日 至9月30日	107年1月1日 至9月30日	106年1月1日 至9月30日
用以計算基本每股盈餘之淨利	$ 54,548	$ 23,263	$ 128,677	$ 11,274
具稀釋作用潛在普通股之影響：				
員工酬勞	-	-	-	-
員工認股權	-	-	-	-
限制員工權利新股	-	-	-	-
用以計算稀釋每股盈餘之盈餘	$ 54,548	$ 23,263	$ 128,677	$ 11,274

股　　數

單位：仟股

	107年7月1日 至9月30日	106年7月1日 至9月30日	107年1月1日 至9月30日	106年1月1日 至9月30日
用以計算基本每股盈餘之普通股加權平均股數	81,340	81,168	81,340	81,089
具稀釋作用潛在普通股之影響：				
員工酬勞	339	64	385	149
員工認股權	378	12	165	11
限制員工權利新股	-	117	-	195
用以計算稀釋每股盈餘之普通股加權平均股數	82,057	81,361	81,890	81,444

若合併公司得選擇以股票或現金發放員工酬勞，則計算稀釋每股盈餘時，假設員工酬勞將採發放股票方式，並於該潛在普通股具有稀釋作用時計入加權平均流通在外股數，以計算稀釋每股盈餘。於次年度決議員工酬勞發放股數前計算稀釋每股盈餘時，亦繼續考量該等潛在普通股之稀釋作用。

二四、股份基礎給付協議

(一) 員工認股權計畫

本公司分別於 107 年 5 月 2 日、100 年 11 月 8 日及 98 年 5 月 12 日經主管機關核准發行員工認股權憑證分別為 2,000 單位、2,500 單位及 2,500 單位（以下分別簡稱「107 年認股權計畫」、「100 年認股權計畫」及「98 年認股權計畫」），每一單位可認購普通股 1,000

股。給與對象包含本公司符合特定條件之員工。認股權之存續期間均為 6 年，憑證持有人於發行屆滿 2 年之日起，可行使被給與之一定比例之認股權。認股權行使價格為發行當日本公司普通股收盤價格，認股權發行後，遇有本公司普通股股份發生變動時，認股權行使價格依規定公式予以調整。合併公司為激勵員工及留任專業人才，經取得員工認股權憑證持有人同意自動放棄既存之「98 年認股權計畫」而以新發行之「100 年認股權計畫」取代被取消之權益商品。員工認股權相關資訊如下：

	107年1月1日至9月30日		106年1月1日至9月30日	
	單　　位	加權平均行使價格（元）	單　　位	加權平均行使價格（元）
期初流通在外	-	$ -	264	$ 21.7
本期給與	2,000	27.9	(8)	21.0
本期離職失效	-	-	(190)	21.0
期末流通在外	2,000	27.9	66	21.0
期末可執行	-	-	66	21.0
本期給與之認股權加權平均公允價值（元）	$ 9.31		$ -	

流通在外之員工認股權相關資訊如下：

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
執行價格之範圍（元）	$ 27.9	$ -	$ 21.0
加權平均剩餘合約期限（年）	5.75	-	0.24

107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日認列之酬勞成本為 1,723 仟元、0 仟元、2,686 仟元及 0 仟元。

(二) 限制員工權利新股

本公司股東會於 103 年 5 月 14 日決議發行限制員工權利新股總額 50,000 仟元，計發行 5,000 仟股，每股面額 10 元，每股認購價格為 0 元（即無償發行），並授權董事會於發行日決定發行價格。本公司董事會於 103 年 8 月 12 日決議發行限制員工權利新股總額 18,100

仟元，計 1,810 仟股，並訂定 103 年 8 月 15 日為增資發行基準日。給予日每股之公允價值為 25.15 元。

員工於獲配限制員工權利新股之日起，於下列各既得期限屆滿仍在職，同時須符合當年度經會計師查核簽證之年度財務報表稅後淨利為正之公司整體財務績效及各年度個人績效皆須符合考績甲等（含）以上之個人績效評核指標且善盡服務守則，可分別達成既得條件之股份比例如下：

任職屆滿 1 年：獲配股數之 30%。

任職屆滿 2 年：獲配股數之 30%。

任職屆滿 3 年：獲配股數之 40%。

本公司代表員工與股票信託保管機構簽訂信託契約。

員工獲配或認購新股後未達既得條件前受限制之權利如下：

1. 除繼承外，不得將該限制員工權利新股出售、抵押、轉讓、贈與、質押，或作其他方式之處分。
2. 股東會之出席、提案、發言、投票權等依信託保管契約執行之。
3. 因限制員工權利新股所獲配之現金股息、股票股利及受配公積現金（股票）一併交付信託。未符合既得條件者，其所獲配之現金股息、股票股利及受配公積現金（股票）等，由公司依相關規定收回現金及依法辦理註銷部分。

員工未達成既得條件時，本公司將依法無償收回所給予之限制員工權利新股並予以註銷。另發生繼承時之處理方式，悉依限制員工權利新股發行辦法相關規定辦理。

107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日公司因發行限制員工權利新股認列之酬勞成本為 0 仟元、366 仟元、0 仟元及 1,834 仟元。

二五、企業合併

(一) 收購子公司

	主要營運活動	收購日	具表決權之所有權權益／收購比例(%)	移轉對價
無錫橙芯微電子科技有限公司	集成電路、軟件的設計、開發；電子產品、通信等設備批發	106年4月12日	100%	$ 918

合併公司於106年4月12日收購橙芯微公司，主要係基於未來產品線之發展。

(二) 移轉對價

	橙芯微公司
現金	$ 918

(三) 收購日取得之資產及承擔之負債

	橙芯微公司
流動資產	
現金及約當現金	$ 8,522
應收票據	2,490
應收帳款及其他應收款	23,994
存貨	8,030
其他流動資產	24,359
非流動資產	
不動產、廠房及設備	2,987
流動負債	
應付帳款及其他應付款	(28,510)
其他流動負債	(41,625)
	$ 247

因企業合併所取得可辨認資產及承擔負債之衡量尚未完成，故財務報表結束日係以暫定金額認列其公允價值。

(四) 因收購產生之商譽

	橙芯微公司
移轉對價	$ 918
減：所取得可辨認淨資產之公允價值	(247)
因收購產生之商譽	$ 671

(五) 取得子公司之淨現金流入

	橙芯微公司
現金支付之對價	$ 918
減：取得之現金及約當現金餘額	(8,522)
	($ 7,604)

(六) 企業合併對經營成果之影響

自收購日起，來自被收購公司之經營成果如下：

	橙芯微公司
營業收入	$102,196
本年度淨利	$ 6,003

倘該等企業合併係發生於收購日所屬之會計年度開始日，106年1月1日至9月30日合併公司擬制營業收入及淨利分別為133,843仟元及5,039仟元。

二六、資本風險管理

合併公司進行資本管理以確保能夠於繼續經營之前提下，藉由將債務及權益餘額最適化，以使股東報酬極大化。因此合併公司之資本管理係以確保具有必要之財務資源及營運計畫，以支應未來12個月所需之營運資金、資本支出、研究發展費用、債務償還及股利支出等需求。

合併公司資本結構係由合併公司歸屬於本公司之權益（即股本、資本公積、保留盈餘及其他權益項目）組成。

合併公司不須遵守其他外部資本規定。

二七、金融工具

(一) 公允價值資訊－非按公允價值衡量之金融工具

合併公司管理階層認為非按公允價值衡量之金融資產及金融負債，其帳面價值金額與公允價值並無重大差異。

(二) 公允價值資訊－以重複性基礎按公允價值衡量之金融工具

1. 公允價值層級

107 年 9 月 30 日

	第 1 級	第 2 級	第 3 級	合 計
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產				
權益工具投資				
－國內上市（櫃）股票	$ 620	$ 15,937	$ -	$ 16,557
－國內外未上市（櫃）股票	-	-	18,750	18,750
合 計	$ 620	$ 15,937	$ 18,750	$ 35,307

106 年 12 月 31 日

	第 1 級	第 2 級	第 3 級	合 計
備供出售金融資產				
權益工具投資				
－國內上市（櫃）股票	$ 997	$ 17,352	$ -	$ 18,349

106 年 9 月 30 日

	第 1 級	第 2 級	第 3 級	合 計
備供出售金融資產				
國內上市（櫃）有價證券				
－權益投資	$ 1,648	$ 20,594	$ -	$ 22,242

107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日無第 1 等級與第 2 等級公允價值衡量間移轉之情形。

2. 第 2 等級公允價值衡量之評價技術及輸入值

金融工具類別	評價技術及輸入值
國內上市（櫃）股票－私募股票	按期末之可觀察股票價格及考量缺乏流動性折價等資料所評估之金融資產公平價值。

3. 第 3 等級公允價值衡量之評價技術及輸入值

主要係以市場法估計公允價值，其所使用之估計或假設主要係參考比較產業性質相近的上市櫃公司或同業之相關資訊計算預期可因持有此項投資而獲取損益之現值。

(三) 金融工具之種類

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
金融資產			
放款及應收款（註1）	$ -	$ 988,395	$ 888,509
備供出售金融資產（註2）	-	36,115	40,220
按攤銷後成本衡量之金融資產（註3）	1,163,261	-	-
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－權益工具投資	35,307	-	-
金融負債			
按攤銷後成本衡量（註4）	972,887	551,255	533,219

註1：餘額係包含現金及約當現金、無活絡市場之債務工具投資、應收票據及應收帳款、其他應收款及存出保證金等以攤銷後成本衡量之放款及應收款。

註2：餘額係包含分類為備供出售之以成本衡量金融資產。

註3：餘額係包含現金及約當現金、債務工具投資、應收票據及應收帳款、其他應收款及存出保證金等按攤銷後成本衡量之金融資產。

註4：餘額係包含短期借款、應付票據及應付帳款、其他應付款及存入保證金等按攤銷後成本衡量之金融負債。

(四) 財務風險管理目的與政策

合併公司主要金融工具包括權益及債務投資、現金及約當現金、應收款項及應付款項。合併公司之財務部門係為各業務單位提供服務，統籌協調進入國內與國際金融市場操作。該等風險包括市場風險（包含匯率風險及利率風險）、信用風險及流動性風險。

(五) 財務風險資訊

1. 市場風險

合併公司之營運活動使合併公司承擔之主要財務風險為外幣匯率變動風險以及利率變動風險。

(1) 匯率風險

合併公司從事外幣計價之銷貨與進貨交易，因而使合併公司產生匯率變動暴險。

合併公司於資產負債表日非功能性貨幣計價之貨幣性資產與貨幣性負債帳面金額（包含合併財務報表中已沖銷之非功能性貨幣計價之貨幣性項目），參閱附註三十。

敏感度分析

合併公司主要受到美元及人民幣匯率波動之影響。

當新台幣（功能性貨幣）對各攸關外幣之匯率增加及減少 5%時，合併公司之敏感度分析。5%係為合併公司內部向主要管理階層報告匯率風險時所使用之敏感度比率，亦代表管理階層對外幣匯率之合理可能變動範圍之評估。敏感度分析僅包括流通在外之外幣貨幣性項目，並將其年底之換算以匯率變動 5%予以調整。有關外幣匯率風險之敏感性分析，主要係針對財務報導期間結束日之外幣貨幣性項目計算。當新台幣對各貨幣升值／貶值 5%時，合併公司於 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之淨利將分別減少／增加 20,197 仟元及 10,256 仟元。

(2) 利率風險

合併公司於資產負債表日受利率暴險之金融資產及金融負債帳面金額如下：

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
具公允價值利率風險			
一金融資產	$ 184,031	$ 162,079	$ 157,809
一金融負債	221,914	60,000	45,000
具現金流量利率風險			
一金融資產	220,141	176,841	144,477
一金融負債	50,000	-	-

敏感度分析

下列敏感度分析係依非衍生工具於資產負債表日之利率暴險而決定。集團內部向主要管理階層報告利率時所使

用之變動率為利率增加或減少 50 基點，此亦代表管理階層對利率之合理可能變動範圍之評估。

若利率增加／減少 50 基點，在所有其他變數維持不變之情況下，合併公司 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅前淨利將增加／減少 638 仟元及 542 仟元，主要因為合併公司之變動利率存款之現金流量利率風險之暴險。

2. 信用風險

信用風險係指交易對方拖欠合約義務而造成合併公司財務損失之風險。截至資產負債表日，合併公司可能因交易對方未履行義務及合併公司提供財務保證造成財務損失之最大信用風險暴險主要係來自於合併資產負債表所認列之金融資產帳面金額。

合併公司採行之政策係僅與信譽卓著之對象進行交易，並於必要情形下取得足額之擔保以減輕因拖欠所產生財務損失之風險。合併公司僅與評等相當於投資等級以上（含）之企業進行交易。該等資訊係由獨立評等機構提供；倘無法取得該等資訊，合併公司將使用其他公開可取得之財務資訊及彼此交易記錄對主要客戶進行評等。合併公司持續監督信用暴險以及交易對方之信用評等，並將總交易金額分散至各信用評等合格之客戶，並透過每年由企業管理階層複核及核准之交易對方信用額度限額控制信用暴險。

合併公司之客戶群廣大且相互無關聯，故信用風險之集中度不高。合併公司並無對任何單一交易對方或任何一組具相似特性之交易對方有重大的信用暴險。當交易對方互為關係企業時，合併公司將其定義為具相似特性之交易對方。

3. 流動性風險

合併公司係透過管理及維持足夠部位之現金及約當現金以支應合併公司營運並減輕現金流量波動之影響。合併公司管理階層監督銀行融資額度使用狀況並確保該額度之維護。

截至 107 年 9 月 30 日暨 106 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，合併公司未動用之短期銀行融資額度分別為 398,086 仟元、460,000 仟元及 315,000 仟元。

下表非衍生金融負債到期分析係依照約定之還款日編製。

107 年 9 月 30 日

	要求即付或短於 1 年內	1 至 5 年	5 年以上
非衍生金融負債			
短期借款	$ 273,630	$ -	$ -
應付票據	68,379	-	-
應付帳款	545,619	-	-
其他應付款	86,826	-	-
	$ 974,454	$ -	$ -

106 年 12 月 31 日

	要求即付或短於 1 年內	1 至 5 年	5 年以上
非衍生金融負債			
短期借款	$ 60,144	$ -	$ -
應付票據	17,177	-	-
應付帳款	391,926	-	-
其他應付款	82,003	-	-
	$ 551,250	$ -	$ -

106 年 9 月 30 日

	要求即付或短於 1 年內	1 至 5 年	5 年以上
非衍生金融負債			
短期借款	$ 45,106	$ -	$ -
應付票據	13,592	-	-
應付帳款	406,989	-	-
其他應付款	67,489	-	-
	$ 533,176	$ -	$ -

合併公司營運資金足以支應，故未有資金短缺之疑慮，即使有資金需求乃屬短期性質，另合併公司之借款皆短於 1 年且有銀行綜合融資額度可運用，在考量合併公司之財務狀況後，

管理階層認為銀行不太可能行使權利要求合併公司立即清償上列借款。

二八、關係人交易

本公司及子公司（係本公司之關係人）間之交易、帳戶餘額、收益及費損於合併時全數予以銷除，故未揭露於本附註。

對主要管理階層之薪酬資訊如下：

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
短期員工福利	$ 8,975	$ 6,139	$ 28,799	$ 14,254
退職後福利	66	110	290	313
	$ 9,041	$ 6,249	$ 29,089	$ 14,567

董事及其他主要管理階層之薪酬係由薪酬委員會依照個人績效及市場趨勢決定。

二九、質抵押資產

下列資產業經提供作為海關進口通關及銀行借款之擔保品：

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
質押定存單（帳列按攤銷後成本衡量之金融資產－非流動）	$ 202	$ -	$ -
質押定存單（無活絡市場之債務工具投資－非流動）	-	202	200
土　地	61,590	61,590	-
建 築 物	159,674	162,559	-
	$ 221,466	$ 224,351	$ 200

三十、具重大影響之外幣資產及負債資訊

以下資訊係按合併公司各個體功能性貨幣以外之外幣彙總表達，所揭露之匯率係指該等外幣換算至功能性貨幣之匯率。具重大影響之外幣資產及負債如下：

107 年 9 月 30 日

	外幣	匯率	帳面金額
外幣資產			
貨幣性項目			
美金	$ 27,788	30.525（美元：新台幣）	$ 848,237
人民幣	10,386	4.436（人民幣：新台幣）	46,069
美金	8	6.881（美元：人民幣）	244
			$ 894,550
外幣負債			
貨幣性項目			
美金	13,499	30.525（美元：新台幣）	$ 412,037
人民幣	1,321	4.436（人民幣：新台幣）	5,862
美金	2,382	6.881（美元：人民幣）	72,711
			$ 490,610

106 年 12 月 31 日

	外幣	匯率	帳面金額
外幣資產			
貨幣性項目			
美金	$ 21,184	29.76（美元：新台幣）	$ 630,435
人民幣	10,220	4.565（人民幣：新台幣）	46,655
美金	8	6.519（美元：人民幣）	238
			$ 677,328
外幣負債			
貨幣性項目			
美金	11,638	29.76（美元：新台幣）	$ 346,343
美金	466	6.519（美元：人民幣）	3,038
			$ 349,381

106 年 9 月 30 日

	外幣	匯率	帳面金額
外幣資產			
貨幣性項目			
美金	$ 17,611	30.26（美元：新台幣）	$ 532,925
人民幣	10,116	4.551（人民幣：新台幣）	46,038
美金	290	6.649（美元：人民幣）	8,775
			$ 587,738

（接次頁）

（承前頁）

	外幣	匯率	帳面金額
外幣負債			
貨幣性項目			
美金	$ 12,133	30.26（美元：新台幣）	$ 367,396
美金	503	6.649（美元：人民幣）	15,221
			$ 382,617

具重大影響之已實現及未實現外幣兌換（損）益如下：

	107年7月1日至9月30日		106年7月1日至9月30日	
外幣	匯率	淨兌換損益	匯率	淨兌換損益
美元	（美元：新台幣）30.67	($ 2,377)	（美元：新台幣）30.27	$ 1,687
人民幣	（人民幣：新台幣）4.50	(1,900)	（人民幣：新台幣）4.54	909
		($ 4,277)		$ 2,596

	107年1月1日至9月30日		106年1月1日至9月30日	
外幣	匯率	淨兌換損益	匯率	淨兌換損益
美元	（美元：新台幣）29.92	$ 6,308	（美元：新台幣）30.54	($ 12,318)
人民幣	（人民幣：新台幣）4.59	(1,630)	（人民幣：新台幣）4.49	(386)
		$ 4,678		($ 12,704)

三一、附註揭露事項

(一) 重大交易事項及(二)轉投資事業相關資訊：

1. 資金貸與他人：無。
2. 為他人背書保證：附表一。
3. 期末持有有價證券情形（不包含投資子公司）：附表二。
4. 累積買進或賣出同一有價證券之金額達新臺幣 3 億元或實收資本額 20%以上：無。
5. 取得不動產之金額達新臺幣 3 億元或實收資本額 20%以上：無。
6. 處分不動產之金額達新臺幣 3 億元或實收資本額 20%以上：無。
7. 與關係人進、銷貨之金額達新臺幣 1 億元或實收資本額 20%以上：無。
8. 應收關係人款項達新臺幣 1 億元或實收資本額 20%以上：無。
9. 從事衍生工具交易：無。
10. 其他：母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形：附表三。

11. 被投資公司資訊：附表四。

(三) 大陸投資資訊

1. 大陸被投資公司名稱、主要營業項目、實收資本額、投資方式、資金匯出入情形、持股比例、期末投資帳面金額、已匯回投資損益及赴大陸地區投資限額：附表五。

2. 與大陸被投資公司直接或間接經由第三地區所發生下列之重大交易事項，及其價格、付款條件、未實現損益：附表六。

(1) 進貨金額及百分比與相關應付款項之期末餘額及百分比。

(2) 銷貨金額及百分比與相關應收款項之期末餘額及百分比。

(3) 財產交易金額及其所產生之損益數額。

(4) 票據背書保證或提供擔保品之期末餘額及其目的。

(5) 資金融通之最高餘額、期末餘額、利率區間及當期利息總額。

(6) 其他對當期損益或財務狀況有重大影響之交易事項，如勞務之提供或收受等。

三二、部門資訊

提供給主要營運決策者用以分配資源及評量部門績效之資訊，著重於每一交付或提供之產品或勞務之種類。合併公司主要經營電子元件積體電路及半導體之設計、測試及買賣等業務。其部門損益、部門資產及部門負債資訊與合併財務報表一致，請詳合併資產負債表及合併綜合損益表。

富鼎先進電子股份有限公司及子公司

為他人背書保證

民國 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表一

單位：除另予註明者外，為新台幣仟元

編號（註1）	背書保證者公司名稱	被背書保證對象		對單一企業背書保證限額（註3）	本期最高背書保證餘額（註4）	期末背書保證餘額（註5）	實際動支金額（註6）	以財產擔保之背書保證金額	累計背書保證金額佔最近期財務報表淨值之比率（%）	背書保證最高限額（註3）	屬母公司對子公司背書保證（註7）	屬子公司對母公司背書保證（註7）	屬對大陸地區背書保證（註7）	備註
		公司名稱	關係（註2）											
0	本公司	無錫橙芯微電子科技有限公司	(3)	$ 139,749	$ 64,360	$ 64,360	$ 41,920	$ -	4.61	$ 279,499	Y	N	Y	

註 1：編號欄之說明如下：

(1)發行人填 0。

(2)被投資公司按公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註 2：背書保證者與被背書保證對象之關係有下列六種，標示種類即可：

(1)有業務往來之公司。

(2)公司直接及間接持有表決權之股份超過 50%之公司。

(3)直接及間接對公司持有表決權之股份超過 50%之公司。

(4)公司直接及間接持有表決權股份達 90%以上之公司間。

(5)基於承攬工程需要之同業間或共同起造人間依合約規定互保之公司。

(6)因共同投資關係由全體出資股東依其持股比率對其背書保證之公司。

註 3：背書保證總金額及對單一企業背書保證最高限額分別為本公司最近一期經會計師查核簽證或核閱之財務報表淨額之 20%及 10%為限。

註 4：當年度為他人背書保證之最高餘額。

註 5：截至年底舉凡公司向銀行簽具背書保證契約或票據之額度獲准時，即承擔背書或保證責任；另其他相關有背書保證情事者，皆應入計背書保證餘額中。

註 6：應輸入被背書保證公司於使用背書保證餘額範圍內之實際動支金額。

註 7：屬上市櫃母公司對子公司背書保證者、屬子公司對上市櫃母公司背書保證者、屬大陸地區背書證者始須填列 Y。

富鼎先進電子股份有限公司及子公司

期末持有有價證券情形

民國 107 年 9 月 30 日

附表二

單位：新台幣仟元／外幣仟元

持有之公司	有價證券種類及名稱	與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末 股數（仟股）	帳面金額	持股比例%	公允價值	備註
本公司	股票							
	元隆電子股份有限公司	-	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－流動	177	$ 620	-	$ 620	
	元隆電子股份有限公司	-	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	5,708	15,937	2	15,937	
	亞瑟萊特科技股份有限公司	-	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	497	8,139	6	8,139	
	股票							
Future Technology Consulting (B.V.I.) Inc	Seaward Electronics, Inc. (Cayman)	-	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	1,733	10,611	13	10,611	

註 1： 本表所稱有價證券，係指屬國際財務報導準則第 9 號「金融工具」範圍內之股票、債券、受益憑證及上述項目所衍生之有價證券。

註 2： 投資子公司相關資訊，請參閱附表四及五。

富鼎先進電子股份有限公司及子公司

母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額

民國 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表三

單位：新台幣仟元

編號	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係（註3）	交易往來情形			
				科目	金額	交易條件（註4）	佔合併總營收或總資產之比率(%)（註2）
0	本公司	橙毅科技股份有限公司	(1)	進貨	$ 36,939	註4	2
				應付款項	14,456	註4	1
				預付款項	5,551	註4	-
				其他費用	3,843	註4	-
		無錫橙芯微電子科技有限公司	(1)	銷貨收入	75,249	註4	4
				應收帳款	29,751	註4	1
1	橙毅科技股份有限公司	無錫橙芯微電子科技有限公司	(3)	進貨	43,879	註4	2
				預付貨款	9,448	註4	-
				應付帳款	7,487	註4	-
2	Future Technology Consulting (BVI), Inc.	深圳富澄電子有限公司	(3)	勞務費	11,642	註4	1

註 1：此附表僅揭露單向交易資訊，於編製合併財務報表時，業已沖銷上述交易。

註 2：交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算，若屬資產負債項目者，以期末餘額佔合併總資產之方式計算；若屬損益項目者，以期中累積金額佔合併總營收之方式計算。

註 3：與交易人之關係如下：

(1)母公司對子公司。

(2)子公司對母公司。

(3)子公司對子公司。

註 4：交易條件與一般客戶相類似。

富鼎先進電子股份有限公司及子公司

被投資公司名稱、所在地區……等相關資訊

民國 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表四

單位：新台幣仟元／外幣仟元

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期（損）益	本期認列之投資（損）益	備註
				本期期末	去年年底	股數（仟股）	比率%	帳面金額			
本公司	Future Technology Consulting (B.V.I.) Inc.	英屬維京群島	一般投資業	$ 65,021	$ 65,021	2,000	100	$ 43,220	($ 11,711)	($ 11,711)	原始投資額 USD 2,000
	Perfect Prime Limited.	薩摩亞	一般投資業	14,540	14,540	450	100	(785)	(1,428)	(1,428)	原始投資額 USD 450
	橙毅科技股份有限公司	台灣	買賣業	100,000	100,000	9,500	73.08	71,379	(9,045)	(6,610)	

富鼎先進電子股份有限公司及子公司

大陸投資資訊

民國 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表五

單位：新台幣仟元／外幣仟元

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式（註1）	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額		本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期（損）益	本公司直接或間接投資之持股比例	本期認列投資（損）益	期末投資帳面價值	截至本期止已匯回投資收益	備註
					匯出	收回							
深圳富澄電子有限公司	電子零組件製造業、電器批發業、電器零售業、產品外觀設計業、資訊軟體服務業、其他設計業（電子元件設計、積體電路設計、半導體設計）、其他工商服務業(電子元件、積體電路、半導體等電子測試服務)、電子材料批發業、電子材料零售業	$ 13,431 USD 440	(2)	$ 13,431 USD 440	$ -	$ -	$ 13,431 USD 440	($ 1,400) (USD 47)	100%	($ 1,400) (USD 47)	($ 1,058) (USD 35)	$ -	
無錫橙芯微電子科技有限公司	積體電路、軟體的設計、開發、技術服務；電子產品、儀器儀錶、通信設備、電腦及輔助設備的批發、傭金代理及進出口業務。	49,888	(1)	49,888	-	-	49,888	1,089	100%	1,089	55,420	-	

本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額（註2）
$63,319	$63,319	$838,496

註 1： 投資方式區分為下列三種，標示種類別即可：

(1) 直接赴大陸地區從事投資。

(2) 透過第三地區再投資大陸。

(3) 其他方式。

註 2： 依據經濟部投審會「大陸地區從事投資或技術合作審查原則」規定之限額之百分之六十。

註 3： 本表所列外幣資產及損益金額係分別按 107 年 9 月 30 日期末及平均匯率 US$ 1=NT$30.525 及 US$ 1=NT$29.915 換算新台幣表達。

富鼎先進電子股份有限公司及子公司

與大陸被投資公司直接或間接經由第三地區所發生下列之重大交易事項，及其價格、付款條件、未實現損益及其他相關資訊

民國 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表六

單位：除另予註明者外，為新台幣仟元

大陸被投資公司名稱	交易類型	進、銷貨	價格	交易條件		應收（付）票據、帳款		未實現損益	備註
		金額		付款條件	與一般交易之比較	金額	百分比		
無錫橙芯微電子科技有限公司	銷貨	($ 75,249)	註 1	月結 60 天	相當	$ 29,751	4%	$ -	
	進貨	43,879	註 1	月結 60 天	相當	(7,487)	1%	-	

註 1：本公司與關係人間之交易係依雙方約定交易價格進行。